

令和6年度 第1回青梅市下水道事業運営検討委員会 意見取りまとめ

○ 社会資本総合整備計画事後評価について

番号	意見	対応
1	(A委員) 雨水浸透施設等設置補助実施率が139%と高いが、その理由、背景には何かあるのか。もしかすると、もともとの目標設定が低かったのではないか。	【実施率の139%について】 実績箇所数としては、令和4年度が20件、令和5年度が33件であり、令和5年度に広報、工事指定工務店等への周知の回数を増やしたことが増加に繋がったものと考えています。 今後も定期的に周知を行うことが重要であると認識しております。 【目標設定について】 過去の実績箇所数の平均数である38箇所を目標としました。 目標数については、再度研究したいと考えています。
2	(B委員) 公共下水道計画区域の未普及地域における下水道整備と下水道施設の耐震化・老朽化対策の事業について、緊急性を踏まえつつ目標達成のため業務を遂行されたことと推測されます。引き続き、安全・安心で快適な暮らしを実現し良好な環境を創造するため、限りある資源を有効に活用し、効率的な業務がなされることを期待しております。	安全・安心で快適な暮らしを実現するため、効率的に業務を進めてまいります。
3	(D委員) 下水管路の維持管理、下水施設の耐震化を長期的な見通しをもって計画的に実施し、事後評価を行って、達成状況を確認しながら、着実に下水道事業を進めていることが分かりました。市民として地道な努力に敬意と感謝を申し上げたい。	貴重なご意見ありがとうございます。